

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	小児手指掌側の熱傷瘢痕拘縮に対して皮弁と全層植皮を併用した手術法
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 形成外科学 助教 柳下幹男
研究参加拒否 申込受付期間	2025年 1月 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2025 年 02 月 28 日
対象者	2007年から2023年までに手指熱傷瘢痕拘縮に対して、当院の形成外科で手術加療を受け、その時に研究参加に同意された10歳以下の方。
当該研究の意義・ 目的	背景：手指熱傷瘢痕拘縮に対して、皮弁と全層植皮を併用した手術法の有用性を2007年に当科が報告した小児熱傷瘢痕拘縮に対して本術式の有用性を検討する。 目的：手指掌側熱傷瘢痕拘縮に対して本術式を行った10歳以下の患者さんを後ろ向きに調査する。 意義：本術式の有用性を証明し、広く発信する。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、臨床写真・手指関節の関節可動域の結果等を収集し、得られたデータから植皮・皮弁の色調と拘縮再燃の有無等を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：病歴、手術時の年齢、性別、臨床写真、関節可動域計測結果 等 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお

又は他の研究機関への提供を停止する旨について	知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 形成外科学 柳下 幹男 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（26526）

作成日： 2024年7月25日